

横浜市アマチュア無線非常通信協力会、平成21年度総会議事録

開催日時：平成21年5月31日（日）午後5時15分～6時50分

開催場所：かながわ県民センター301号室

1. 開会の辞

司会を務める日置事務局長（7LAUJY）が、定刻になったので、開会を宣した。

2. 斎藤文三会長（JR1NVW）の挨拶要旨

横浜市からの臨席者に対するお礼。森本前会長辞任により残任期間の会長職を担う挨拶。その他、各担当理事の役割任命。本会設立の目的、私達を取り巻く環境の変化、協力会への期待、行政との一体が大切、デジタル移動電話等行政無線との共存、本部と支部との職務分担などに触れ、特に行政との協調を印象付ける挨拶であった。

・理事の役職と担当は次のとおり

会長 斎藤文三

副会長・会員担当 片山晋

副会長・広報担当 鈴木智夫

事務局長 日置隆則

支部長会・防災フェア担当 川畑正司

区役所クラブ免許担当 宮本尚

広報担当補佐・HP担当 松永喬

事務局補佐・会則、法務担当 日暮正夫

支部長会担当補佐 半田理

3. 来賓の挨拶要旨 横浜市役所 安全管理局危機管理室情報技術課 橋本課長（同席：岩本担当係長、有賀氏）

協力会協賛のY150記念の特別局で横浜を盛り上げていただいていること、協定締結からの長い年月にわたって横浜市と緊密な関係をしていること、今年8月30日に行われる八都県市合同防災訓練に栄区支部が対応することなどに感謝の意を述べられ、今後南関東に巨大地震が来る確率が高いなかで、将来的には若い世代の会員の育成を期待し、横浜市との関係をより深いものにしていきたい。

4. 議長の選出

司会より議長選出を会場に諮ったところ、出席者から「司会に一任」との発言があり、司会は議長として宮本理事（JA1SKY）を指名。

5. 書記の選出

議長より書記の希望者を会場に募ったが希望者がいなかったので、議長は書記として片山氏（JA1XLU）と日暮氏（JA1SAP）を指名した。

6. 総会成立報告

議長より事務局に対し本総会の出席状況の報告を求めた。

日置事務局長より、本総会の定数は62名であり、そのうち出席者が44名、委任状提出者が5名で、合計49名と報告し、議長は2分の1以上の出席という本会規約の第16条に規定の定足数を満たしており、本総会は有効に成立している旨の報告があった。

7. 議案の審議、報告

第1号議案 平成20年度事業報告、決算報告、監査報告

議長は斎藤会長を指名し、添付資料に基づき平成20年度の事業報告および決算報告がされた。

<質疑応答>

- ・ 中区支部 中村支部長（JR1DHY）より、8月31日の横浜市総合防災訓練は、何支部参加したのか。

松永理事（戸塚支部）の回答：戸塚支部だけの参加で、区役所と地域防災拠点4箇所が参加した。

- ・ 金沢区 菊地康弘（JP1MWS）より、横浜開港150周年アマチュア無線実行委員会に対する「協賛」の意味は？

会長より回答：「・・・実行委員会」は横浜開港記念の特別局(8N1Y)を開局運用するものであるが、当会の協賛は、金銭的や活動の協力ではなく、単に名義貸しである。

- ・ 同人より続いての質問、「横浜開港150周年アマチュア無線実行委員会に」とあるが、協力会とは母体が違うのか。また「・・・実行委員会」には、他の団体も加わっているのか。

宮本議長回答：当会とは別のアマチュア無線愛好家による「・・・実行委員会」で別母体である。他に加わっている団体は、JARL神奈川県支部、無線機器メーカー、神奈川新聞、教育委員会、などがある。

- ・ 都筑区支部 吉川代議員(JE1HZI) 支部活動の活性化のバックアップなどを本部はしていないのか？
また支部活動の成果を事業報告に入れたら良いのではないのか。

会長回答：従来は支部活動の報告はしていなかったが、今回は活動の数字一覧を設けた。今後は支部長会や理事会で活性化を検討していきたい。事業報告に記載する。

- ・ 戸塚区支部 伊藤代議員(JF1DIN) 協定検討委員会は何を検討したのか？

会長から説明があった。（この件はすでに詳細に広報しているので議事録では省略する）

続いて議長より監査報告を監事に求め、薄井監事（JA1JFT）より以下の通り監査報告がされた。

- ・ 本会は会費等の収入は一切ないので会計については報告すべきことはありません。また平成20年度の事業および会議等は適正に運営されていた。旨報告された。

議長は本議案を会場に諮り、大多数の拍手により承認された。

第2号議案 平成21年度事業計画（案）

議長は斎藤会長を指名し、添付資料に基づき平成21年度事業計画について説明があった。

<質疑応答>

- ・ 青葉区支部 小野支部長(JA2GUW) 再免許手続きを平成21年度計画に入れた方がよいのではないのか。
宮本免許回答：事業計画に追加する。

議長は本議案を会場に諮り、大多数の拍手により承認された。

第3号議案 補欠理事1名の選任

森本会長辞任により、理事1名が欠員となった。補充の理事は理事会で決定することになっているが、この総会の場で、自薦他薦を問うた。しかし名乗りがなかったので、各支部に持ち帰っての検討を待ち、後日理事会で決定することとして承認された。

第4号議案 その他

1. オール横浜コンテストについて

会長説明：「オール横浜コンテスト」は、JARL 横浜クラブと当会で共催（市長賞、局長賞を得るための名義貸しで実質はJARL 横浜クラブ主催）してき。従来、両会の会長が同一人物であったが、この度別になったので、この際に共催の覚書を交わそうとした。しかし、JARL 横浜クラブから、今年は共催せず今後については白紙検討したいとの回答があり、今年の共催はなくなった。今後については別途検討する。

<質疑応答>

- ・ 青葉区支部 小野支部長 オール横浜コンテストの支部対抗部門はなくなるのか。
回答：JARL 横浜クラブが主催であり不明、発表されるコンテスト規約で確認下さい。
- ・ 戸塚区支部 姫本支部長(JP1DMV) 共催がなくなって、JARL 横浜クラブのデメリットはなにか。
回答：当会のことではないが、たぶん市長賞、局長賞はなくなるだろうと思われる。

2. 会員状況について

会員担当の片山副会長から、以下の通り報告があった。

- ・ 平成21年度の本会会員は合計924名ということで、本年4月30日に横浜市に報告をした。
我々の活動は会員あって成り立つのものであり会員把握は各区支部活動の基本です。例年4月30日に報告するので、各支部からは4月20日ぐらいまでに最新の情報をいただきたい。

- ・横浜市への報告は、協定に基づくもので、本人確認が出来れば良いが、基本的には、氏名、無線従事者免許証番号、免許切れでないコールサインは記載していただきたい。

<質疑応答>

- ・保土ヶ谷区支部 志村代議員(JI1WQO) 会員を増やす中で、特に若い会員を育成し増やすことを検討していただきたい。

回答：本部だけの問題ではなく全体の問題なので、各区支部でも検討していただきたい。また、支部長会や理事会でも話題にしたい。

3. 各区役所局の免許、無線設備について

宮本免許担当から区役所クラブ局に関する一連の説明があった。

- ・総会資料添付の、アマチュア無線機 型式一覧表についての説明。
- ・無線局免許手続きに関する説明。

今年8月31日の再免許手続きは、宮本理事が委任状を受けて代行する。

各支部で変更することがあれば、再免許後でなければならない。

再免許後の変更等は、可能な限り各区で行いその結果を宮本免許担当に報告する方向にしたい。

- ・電波利用料に関する説明。

電波利用料納付書は各支部長宅に直送されるので、開封せずに「横浜市安全管理局危機管理室 情報技術課」に転送して下さい。

<質疑応答>

- ・港南区支部 佐野支部長(JA3CBS) 支部の区役所局の故障した無線機は保管しておくと云う指示であったが、いつまで保管するのか?

回答：横浜市に確認して回答する。

4. 広報関係について

- ・鈴木広報担当理事からホームページについての説明があった。

本総会添付資料にあるように、当会のホームページのURLが変わった。またホームページ担当も代わったので、内容や掲載希望については、松永理事へ連絡して下さい。

以上、第4号議案 1. 2. 3. 4. について一括して承認され、本総会の全ての議案が承認されたので議長は解任された。

司会の日置事務局長から、出席者にその他提案等があるか問うたが、無かったので総会の議事は終了した。

8. 閉会の辞

鈴木副会長が、閉会の辞を述べて総会は終了した。

総会時添付資料

1. 横浜市アマチュア無線非常通信協力会 平成21年度総会議事次第
2. (平成21年度総会 資料) 第1号議案 平成20年度事業報告
3. (平成21年度総会 資料) 第2号議案 平成21年度事業計画 (案)
4. 横浜市アマチュア無線非常通信協力会 平成20年度支部活動報告
5. アマチュア無線機 型式一覧表 (2009.05.25)
6. 非常通信協力会ホームページ 新URL